

日本が世界に誇るピアニスト

野原みどり

ピアノリサイタル

2025

9月13日(土)

15時開演 (14時半開場)

ところ:ひまわりホール

JR,西鉄大牟田駅下車徒歩2分
大牟田市役所前

入場料:一般 4000円 高校生以下3000円

*未就学児の入場はご遠慮ください

プレイガイド:ひまわりホール(お電話でご予約→公演
当日お受取り)、大牟田文化会館、荒尾総合文化セン
ター、久留米石橋文化センター、サザンクス筑後、
小川楽器株柳川店、スズヤ楽器店

主催:ひまわりホール

後援:大牟田市・大牟田市教育委員会・有明
新報社・アペルト

おかげさまで開設20年



～プログラム～

バッハ=ベトリ:カンタータ「樂しき狩こそ我が悦び」BWV208 第9曲「羊は憩いて草を食み」

ベートーヴェン:ソナタ No.15 「田園」 op.28

リスト:「アデライーデ」(ベートーヴェン)

グリーグ:ホルベルク組曲「ホルベアの時代」より op.40

ブラームス=ブゾーニ:オルガンのための11のコーラル前奏曲 op.122 第8曲「ひととのバラ生いいでぬ」

リスト:シューベルトの12の歌より「糸をつむぐグレートヒェン」S558、歌劇「ファウスト」(グノー)のワルツ
S407

野原みどり プロフィール

東京芸術大学在学中に第56回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、増沢賞、井口賞受賞。同大学を首席で卒業後、エコール・ノルマル（パリ）に留学。第42回ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位、リスト・エチュード賞受賞。リスト国際コンクール（ブダペスト）第2位。

第23回ロン＝ティボー国際ピアノコンクール第1位。この快挙によって一躍注目を集め、ヨーロッパ各地及び日本国内でコンサート活動を開始。

J.フルネ、L.マゼール、M.ブラッソン、小澤征爾など世界的指揮者に認められ、フィルハーモニア管弦楽団（英国）、ドレスデン・フィル他と多数共演。95年、L.マゼール指揮のピッツバーグ交響楽団に招かれ、プロコフィエフのピアノ協奏曲第2番を協演。ピッツバーグ・トリビューン紙面で「まるでプロコフィエフが彼女の為にこの曲を書いたようだ。」と絶賛を博した。

ベルリンフィル・ヴィルトゥオーゾ、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンの日本ツアーのソリストとして、又、ヴァイオリンのG.プーレ、ヴィオラのG.コセ、W.クリスト、サクソフォンのC.ドゥラングル等との共演など、室内楽やデュオ等でも活躍する傍ら、後進の育成にも努めている。

2015年、自身が第1位を獲得したロン＝ティボー・クレスパン国際コンクールピアノ部門審査員を務めた。

レパートリーはラヴェル、ドビュッシー等フランス人作曲家のみならず、モーツァルト、シューベルト、ベートーヴェン、ブラームス、ラフマニノフ、プロコフィエフ等に及び、その演奏は繊細さと豪胆さを兼ね備えている。

CDはこれまでに、「ラヴェル：ピアノ作品集ⅠⅡ」、「月光」などフォンテック、アウローラ・クラシカル等よりリリース。

現在、名古屋音楽大学客員教授、東京芸術大学准教授。